

国鉄改革とJR ～東海道新幹線から超電導リニアへ～

日時：5月19日（火）16:50-18:35

オンライン講義によるライブ実施

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、東海旅客鉄道株式会社取締役名誉会長 葛西敬之 氏からお話を伺います。

東京・横浜・静岡・浜松・名古屋・京都・大阪など日本の主要都市が連なる東海道回廊はまさに日本の「頭脳・体幹部」であり、東海道新幹線はその「大動脈」であります。東海道新幹線は比類なき利便性と輸送力をもってこの回廊を一大メガロポリスに変容させ、人々のライフスタイルを形作るとともに、日本経済の発展に貢献してきました。

国鉄の分割民営化を経て発足したJR東海では、編成・車両仕様の統一や品川駅の新設、高速化・高頻度化を実現させ、東海道新幹線システムを完成域にまで高めてきました。そして現在は、この磨き上げられた東海道新幹線システムに加え、東京～名古屋～大阪間を最高速度500km/hで結ぶ超電導リニアによる中央新幹線計画の実現という新たな飛躍に向けて取り組んでいます。

本講義では、講師自身が関わってきた東海道新幹線の進歩と飛躍、超電導リニアの取組みを中心に、国鉄分割民営化からJR東海発展の歩みまでを振り返ってみたいと思います。

履修登録学生以外の本学学生の聴講も歓迎しますので、聴講を希望する学生もアクセス願います(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方はアクセス出来ません。)

(※オンライン授業URLは授業開始前にUTASで確認すること。資料はUTASにて本科目をお気に入り登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に事前配布する。)

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp



東海旅客鉄道株式会社
取締役名誉会長

葛西 敬之 氏